

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2020年8月号

新型コロナウイルス感染症の急拡大で、大分市へ緊急の申し入れ

一党議員団と中部地区委員会

8月12日、大分市長へ新型コロナウイルス感染症防止の緊急対策を申し入れました。



(市長室で緊急要望書を提出する議員団)

緊急事態宣言の解除後、新型コロナウイルス感染症の急拡大の中、大分市でも陽性者が確認されるなど不安の声が広がっています。新型コロナから命と健康、暮らしと経済を守るために、以下5項目を大分市へ緊急に申し入れをおこないました。

1・感染震源地（エピセンター）を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全体に対して、PCR等検査を実施すること。2・地域ごとの感染状態がどうなっているのかの情報を、住民に開示すること。



(市長と懇談する議員団)

3・医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員、出入り業者等への定期的なPCR検査を行うこと。4・検査によって明らかになった陽性者を、隔離・保護・治療する体制を、緊急につくりあげること。5・自粛要請と補償は一体に、事業者への継続的な支援と拡充をおこなうこと。

3・医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員、出入り業者等への定期的なPCR検査を行うこと。

7月豪雨から1ヶ月、対策求め 現地調査一党議員団

8月12日、党議員団は、担当部局職員の案内で、被害の大きかった八幡地区、田浦地区を現地調査し、被害の実態と対策のとりくみについて聞き取りをおこないました。



(下八幡地区にて)

を下げることや、河川堤防の補強工事が求められています。

祓川では、河川堤防の崩壊、床上浸水など、被害の大きさ垣間見ました。

上流にある放生池堰堤改修もすすめられていますが、川底



(田浦地区の崖崩れ現場にて)

なれば多額の費用が必要です。財政的な支援が求められています。今回の豪雨では大小含め、200カ所以上の崖崩れ通報が寄せられています。

田浦地区の崖崩れ地域では、市道の土砂は取り除かれていましたが、民地の崖崩落であり、地権者の責任での改修と



(住民から被害状況を聞き取る福間)

も設置されず、床上浸水しました。住民からの床下消毒の要望は翌日に実施されました。

王子山の手地区では、県立図書館北側日豊線沿いの家屋が床下浸水、豪雨時に取り付けられる予定の排水ポンプ

★暮らしや地域の要望をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

